

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 明治海運株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9115 URL <https://www.meiji-shipping.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長CEO (氏名)内田 和也
 問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員 (氏名)水野 敏郎 (TEL)03-3792-0811
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	21,090	5.0	2,069	7.2	1,592	△24.8	668	△29.7
2019年3月期第2四半期	20,087	2.8	1,931	△19.9	2,117	9.6	950	48.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 220百万円(△87.6%) 2019年3月期第2四半期 1,784百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	20.42	—
2019年3月期第2四半期	29.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	173,090	39,124	9.7
2019年3月期	166,629	39,089	10.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 16,768百万円 2019年3月期 16,855百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	5.00	5.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 現時点では、2020年3月期の期末配当予想額は未定です。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,400	1.9	4,500	△8.7	3,100	△29.2	1,400	△31.7	42.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期2Q	36,000,000株	2019年3月期	36,000,000株
2020年3月期2Q	3,263,245株	2019年3月期	3,263,245株
2020年3月期2Q	32,736,755株	2019年3月期2Q	32,736,755株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱をめぐる混乱などのもと、低迷が続きました。米国経済は、堅調な輸出を背景に好調ではありましたが、内需は予想をやや下回りました。欧州経済は、個人消費の拡大が景気を下支えていたものの、製造業の低迷が長期化して、主要国の成長ペースは鈍化しました。中国経済は、米国による関税引き上げにより外需は低迷、内需も減速が続きました。その他のアジア新興国経済も全体的には景気減速基調が続きました。

我が国経済は、米中貿易摩擦を背景に輸出・生産活動が低迷していたものの、個人消費は緩やかに回復しました。

このような経済状況のもと、外航海運業は、大部分の船種において傭船市況に回復の兆しがみられました。

タンカー市況は、季節的要因に伴い、4月から6月の間は軟調でしたがその後は昨年同期を上回る水準で推移し、8月には損益分岐点と言われる水準に達しました。船腹供給量の減少及び産油国を中心とした地政学上の情勢による需要増が市況を堅調なものとししました。

バルカー市況については、大型のケープサイズでは、夏場に一時的な落ち込みを見せたものの概ね過去3年間を大幅に上回る水準まで回復しました。中小型船型については、需給環境の改善によりケープサイズに比して緩やかながらも安定的な上昇がみられました。

自動車船市況は、本年から欧州発アジア向けを中心とした荷動きが減少傾向で、船腹供給過多の状態にあり低調ではありましたが、安定的に推移しました。

コンテナ船市況は、船型を問わず安定的に推移していましたが、超大型船の市場への投入が本格化しており、将来の需給バランスについては予断を許さない状況となりました。

当社グループの外航海運業部門は、前連結会計年度に竣工・取得した船舶の稼働増により、売上高は15,192百万円（前年同四半期比7.2%増）となり、外航海運業利益は1,494百万円（前年同四半期比7.1%増）となりました。

ホテル関連事業部門は、宿泊部門は比較的堅調に推移し、売上高は5,639百万円（前年同四半期比0.2%減）となり、ホテル関連事業利益は424百万円（前年同四半期比12.0%増）となりました。

不動産賃貸業部門は、売上高は258百万円（前年同四半期比2.8%減）、不動産賃貸業利益は150百万円（前年同四半期比3.4%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、21,090百万円（前年同四半期比5.0%増）、営業利益は2,069百万円（前年同四半期比7.2%増）となりました。経常利益は、前年同四半期より為替差益が減少したこと等から、1,592百万円（前年同四半期比24.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は668百万円（前年同四半期比29.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産の部は、前連結会計年度末より6,461百万円増加し、173,090百万円となりました。これは主に新造船竣工に伴う船舶の増加によるものです。

負債の部は、前連結会計年度末より6,425百万円増加し、133,966百万円となりました。これは主に長期借入金の増加によるものです。

また、純資産の部は、前連結会計年度末より35百万円増加し、39,124百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローにおいては、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて200百万円増加し、16,423百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によって得られた資金は、5,080百万円(前年同四半期比16.5%減)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1,592百万円に、減価償却費5,434百万円を加算し、その他非資金項目を加減算した結果です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動に使用した資金は、12,376百万円(前年同四半期252.2%増)となりました。これは主に新造船建造費等の有形固定資産の取得による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動によって得られた資金は、7,783百万円(前年同四半期は3,686百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入金の純増額および長期借入れによる収入の合計19,970百万円と、長期借入金、リース債務の返済および社債の償還による支出12,021百万円との差額7,949百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、今後の為替状況等の不確定要素があるため、現時点では2019年5月9日公表時の数値を据え置くことといたしました。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる場合があります。今後業績予想等の修正が必要となった場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,471,715	16,665,378
売掛金	839,769	682,710
商品及び製品	27,405	28,578
原材料及び貯蔵品	720,042	632,574
その他	2,691,877	3,665,790
流動資産合計	20,750,810	21,675,033
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	102,070,321	106,339,899
建物及び構築物（純額）	12,346,029	12,111,631
土地	8,679,167	8,676,195
建設仮勘定	5,378,500	7,058,968
その他（純額）	471,546	514,695
有形固定資産合計	128,945,564	134,701,391
無形固定資産		
その他	85,744	102,011
無形固定資産合計	85,744	102,011
投資その他の資産		
投資有価証券	13,907,502	13,624,628
長期貸付金	895,165	830,870
繰延税金資産	992,167	1,068,133
その他	1,052,307	1,088,927
投資その他の資産合計	16,847,142	16,612,561
固定資産合計	145,878,451	151,415,964
資産合計	166,629,261	173,090,997

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	1,544,406	1,932,620
1年内償還予定の社債	1,095,500	1,048,000
短期借入金	26,400,206	26,287,626
リース債務	178,498	173,319
未払金	943,583	619,028
未払法人税等	336,849	318,352
賞与引当金	50,799	171,780
その他	4,443,856	4,509,449
流動負債合計	34,993,699	35,060,177
固定負債		
社債	2,606,000	2,072,000
長期借入金	80,929,529	88,665,981
リース債務	2,347,065	2,190,240
繰延税金負債	191,952	234,024
再評価に係る繰延税金負債	1,043,086	1,043,086
引当金		
役員退職慰労引当金	235,494	235,494
特別修繕引当金	2,013,784	2,155,699
引当金計	2,249,278	2,391,193
退職給付に係る負債	352,701	366,295
持分法適用に伴う負債	1,035,790	978,852
その他	1,791,061	964,302
固定負債合計	92,546,465	98,905,976
負債合計	127,540,164	133,966,154
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,800,000	1,800,000
資本剰余金	21,128	21,128
利益剰余金	12,606,156	13,094,689
自己株式	△675,520	△675,520
株主資本合計	13,751,764	14,240,298
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	513,140	479,402
繰延ヘッジ損益	△329,896	△515,102
土地再評価差額金	1,906,276	1,906,276
為替換算調整勘定	1,013,991	658,049
その他の包括利益累計額合計	3,103,510	2,528,626
非支配株主持分	22,233,821	22,355,918
純資産合計	39,089,096	39,124,843
負債純資産合計	166,629,261	173,090,997

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	20,087,265	21,090,868
売上原価	16,152,321	16,957,091
売上総利益	3,934,943	4,133,776
販売費及び一般管理費	2,003,824	2,063,784
営業利益	1,931,119	2,069,992
営業外収益		
受取利息	40,609	43,941
受取配当金	75,837	38,221
為替差益	583,460	83,284
持分法による投資利益	363,934	248,877
その他	127,212	237,661
営業外収益合計	1,191,054	651,986
営業外費用		
支払利息	900,148	1,049,258
その他	104,520	80,244
営業外費用合計	1,004,668	1,129,502
経常利益	2,117,504	1,592,476
特別利益		
その他	55,670	—
特別利益合計	55,670	—
税金等調整前四半期純利益	2,173,174	1,592,476
法人税、住民税及び事業税	296,755	306,096
法人税等調整額	△165,403	37,423
法人税等合計	131,352	343,520
四半期純利益	2,041,822	1,248,955
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,091,282	580,480
親会社株主に帰属する四半期純利益	950,539	668,474

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	2,041,822	1,248,955
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,500	△53,359
繰延ヘッジ損益	138,942	△104,715
為替換算調整勘定	△343,596	△451,790
持分法適用会社に対する持分相当額	△62,511	△418,322
その他の包括利益合計	△257,665	△1,028,188
四半期包括利益	1,784,156	220,767
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	881,953	93,590
非支配株主に係る四半期包括利益	902,203	127,177

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,173,174	1,592,476
減価償却費	4,982,784	5,434,600
受取利息及び受取配当金	△116,447	△82,163
有形固定資産除売却損益(△は益)	2,530	67
支払利息	900,148	1,049,258
為替差損益(△は益)	△554,529	△122,069
匿名組合投資損益(△は益)	△5,098	△12,942
デリバティブ評価損益(△は益)	△24,031	△42,428
持分法による投資損益(△は益)	△363,934	△248,877
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,277	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9,494	13,593
特別修繕引当金の増減額(△は減少)	325,162	141,915
前受金の増減額(△は減少)	△95,854	△252,449
たな卸資産の増減額(△は増加)	112,767	86,293
未収消費税等の増減額(△は増加)	△22,759	△1,474
海運業未払金の増減額(△は減少)	231,690	388,213
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△264,172	△1,011,315
その他	△14,468	△552,508
小計	7,273,180	6,380,189
利息及び配当金の受取額	77,214	81,850
利息の支払額	△954,539	△1,079,301
法人税等の支払額	△308,349	△302,249
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,087,506	5,080,489
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,587,735	△12,458,177
有形固定資産の売却による収入	913	1,907
定期預金の預入による支出	△26,000	△241,500
定期預金の払戻による収入	26,000	248,040
投資有価証券の取得による支出	△58	△40,447
貸付けによる支出	△120,000	△53,965
貸付金の回収による収入	220,900	222,500
その他	△28,486	△55,192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,514,466	△12,376,834

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△452,968	3,038,479
長期借入れによる収入	5,600,720	16,932,365
長期借入金の返済による支出	△6,316,327	△11,278,000
社債の発行による収入	488,960	—
社債の償還による支出	△604,500	△581,500
配当金の支払額	△179,304	△179,108
非支配株主への配当金の支払額	△5,080	△5,080
リース債務の返済による支出	△2,238,190	△162,005
その他	20,483	18,060
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,686,205	7,783,211
現金及び現金同等物に係る換算差額	△231,663	△286,662
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,344,829	200,202
現金及び現金同等物の期首残高	18,743,596	16,223,675
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,398,766	16,423,878

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	外航海運業	ホテル関連 事業	不動産賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,171,988	5,649,684	265,592	20,087,265	—	20,087,265
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,171,988	5,649,684	265,592	20,087,265	—	20,087,265
セグメント利益	1,395,971	379,380	155,767	1,931,119	—	1,931,119

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	外航海運業	ホテル関連 事業	不動産賃貸業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,192,858	5,639,892	258,117	21,090,868	—	21,090,868
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,192,858	5,639,892	258,117	21,090,868	—	21,090,868
セグメント利益	1,494,797	424,756	150,438	2,069,992	—	2,069,992

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。